

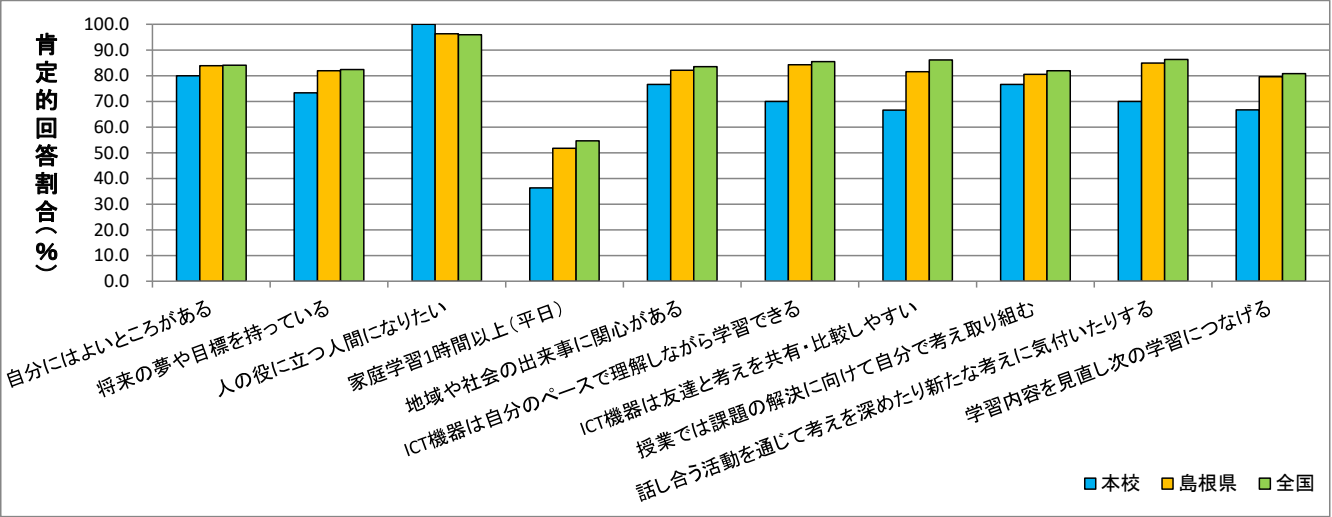
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○人物像を具体的に想像すること。 ○文の中における主語と述語の関係を捉えること。 ●目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ●物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	・物語の読み取りでは、人物像とともに物語の全体像が想像できるように、他の児童との意見交流の機会を積極的に設け、意見交流を活かして自分の読み取りを深め、自分の表現に結びつけるように指導する。 ・目的や意図に応じて、集めた材料や情報を分類したり、関係付けたりし、伝え合う内容について、他の児童との意見交流の機会を積極的に設け、自分の表現に結びつけるように指導する。
算数	○直方体の見取図について理解し、書くこと。 ●速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること。 ●折れ線グラフから必要な数字を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること。	・問題場面を図や数直線などに表すなどしてしっかり把握させ、用いるべき演算を考えたり、解答のおよその見当をつけるように指導する。 ・自分の考え方や解答などを言葉や式、図などを用いて表現し、説明する活動を多く設ける。

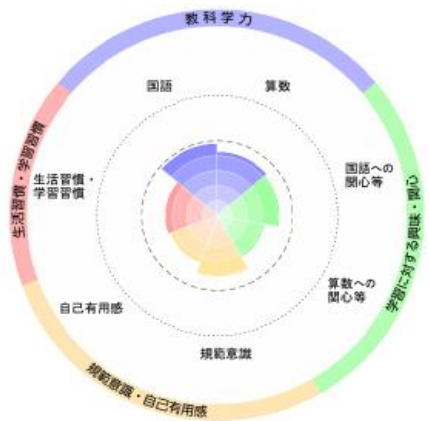
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○全児童が人の役に立つ人間になりたいと思っていること。 ●家庭学習の時間が少ない児童が多いこと。	・学校の授業と家庭学習を結びつけるために、「家庭学習の手引き」を基にして指導し、家庭学習の充実を図る。 ・生活習慣と学習習慣を総合的にとらえ、双方が充実するように指導する。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・ICT機器を効果的に用いた学習の充実を図る。
・さらに自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実を図る。

【受検者数】
30 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。